

2040~2045

IN-12

鳥取県の後継者不足で悩む経営者をサポートするため、小中学校で経営を行う部活が立ち上がり、外部の支援を受けながら企業を経営するようになる

概要

人口減少に伴い、企業活動においても特に中小企業の後継者不足問題が一層顕著となり、解決策の1つとして子どもの経済活動への参加が進行する。そこで、義務教育の学校の部活・課外活動として「会社経営」のカリキュラムが創設され、希望者が経済活動に取り組む環境が整い、小中学生が実際の企業を用いて実践的な経営を学ぶ世界となる。経営の一線を退いたシルバー人材による指導やAIによる業務フォローも受けて、最終的には、学校に通いながら週3日・短時間勤務で会社経営を行う「小学生社長」が誕生する。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

小中学生は経済活動に加われない



これからは

小中学生の経済活動が課外カリキュラムとして実現